

平成27年度岐阜県博物館
マイミュージアムギャラリー
第3回展示

昭和を彩った和傘たち

平成27年6月27日(土)
～7月20日(月・祝)

あいさつ

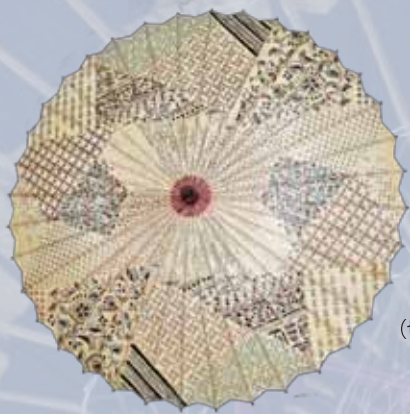
このたび、岐阜県博物館マイミュージアムギャラリーで「昭和を彩った和傘たち」をテーマに展覧会を開催することになりました。

雨の多い日本の生活の中で、欠かすことのできない道具として傘があります。今では洋傘が主流となりましたが、昭和の中頃までは、傘といえば竹の骨に和紙が張られた和傘が主流でした。平安時代の頃に中国から伝わったとされる傘は、長い年月の間に日本で独自の進化を遂げ、和傘として広く使われるようになりました。私たちは、昔の和傘を知りたいとの思いから、その製造の最も盛んだった昭和の初めから中頃にかけて、全国各地で製造された和傘を多数集めてきました。今回は、それらの中から選りすぐりの和傘およそ60本を皆さんにご覧いただきたいと思います。

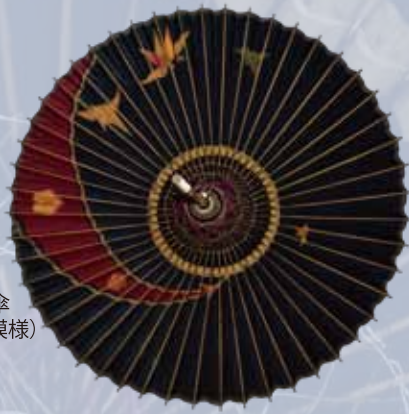
昔和傘を使っていた方には懐かしく、和傘になじみの無い若い世代の方には目新しい、和傘の魅力を存分に楽しんでもらえる展示会になれば嬉しく存じます。

中村 美智子(岐阜市在住)

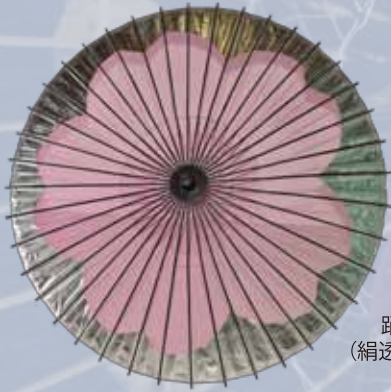
網代傘
(日傘)



蛇の目傘
(切り接ぎ模様)



踊り傘
(絹透桜模様)



あづま傘
(野村寅吉作)



文化仕上げ傘

中村さんは、18年ほど前から岐阜の伝統工芸の一つである和傘の製造販売に関わっています。和傘との関わりが深くなるにつれて、以前製造された和傘にはどのようなものがあつたのか興味を抱くようになり、ご夫婦で全国各地の和傘を収集するようになりました。

今回は、コレクションの中から、日本の和傘製造が最も盛んであつた、昭和の初期から中頃にかけて、岐阜をはじめ全国各地で作られた和傘を展示します。切り接ぎ(切り絵)の技法で模様を描いたものや、閉じた胴に模様を描いたもの(文化仕上げ)、様々なデザインの雨傘、日傘、大傘など60点余を展示します。

和傘の展示に加え、その製造工程や工具の紹介も行います。また、出展者の在室時には、傘の骨組みを組み立てる「繋(つな)ぎ」や作業の仕上げに飾り糸で装飾する「かがり」といった工程の実演も随時行います。

昔、和傘を使っていた人には懐かしく、和傘になじみのない若い世代の方には新鮮な、和傘の魅力にあふれた展覧会です。

マイミュージアムギャラリー 次回の予告

平成27年度第4回展示
平成27年8/1(土)～8/30(日)
「和」のジオラマ
～1/80 鉄道模型とストラクチャー～
出展者 森田 博路(各務原市)

森田さんが制作した1/80サイズの鉄道模型車両およびストラクチャー作品を展示します。森田さんの作品はその多くがペーパー製で、特に昭和30年代に活躍した車両や、その当時の建物を多数製作しています。今回はこれまでに制作した作品の中から、全国の私鉄約50社の昭和時代の車両を中心に、その時代の懐かしい建物(ストラクチャー)をジオラマで再現して展示します。

コレクションや作品を展示してみませんか

マイミュージアムギャラリーは、岐阜県に在住、在勤またはゆかりのある個人及び団体(法人等)のコレクションや生涯学習の成果発表の場です。特に、貴重なコレクション、岐阜県に關係するコレクションや作品を歓迎します。



展示の条件などは、当館マイミュージアムギャラリーで配布のチラシの裏面をご覧ください。その他出展に関してご不明な点があれば、マイミュージアム係までお気軽にお尋ねください。

申込み受付中!

交通案内



休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合はその翌平日)
入館料 無料(ただし、博物館本館への展示を観覧される場合には、所定の入館料が必要です。)
時 間 9:00～16:30(入館は16:00まで)

公園駐車料金が無料になりました!

- ・東海北陸自動車道 関インターから車で5分
- ・岐阜バス(小屋名)バス停下車徒歩約20分
- ※岐阜駅方面からは、岐阜バスバスターミナル又はJR岐阜駅14番乗り場でご乗車ください(岐阜関線、岐阜美濃線)
- ※関駅からは、関駅西側の関シティターミナルバス停からご乗車ください(岐阜関線)
- ・岐阜バス・名鉄バス(赤土坂)バス停下車徒歩約25分
- ※名古屋駅方面からは、名鉄バスセンターでご乗車ください(高速名古屋線)

